



己に厳しく 人に優しく 笑顔 感動 創造

令和3年9月30日

波佐見中学校

校長 楠本 洋一

生まれ育った町 波佐見町を深く知ろう

「やきもの体験活動 第2弾 絵付け 中1」 「キャリア教育 講話 中3」

本校では、生まれ育った郷土を愛し、誇れる子どもたちを育てようと、地域の皆様の協力のもと、波佐見町についての学習を進めているところです。2学期が始まってすぐの9月3日には、1年生が、本校伝統の活動である「やきもの文化体験の絵付け」を行いました。窯元の皆様、PTA文化教養部の保護者の皆様、波佐見町教育委員会のご協力を得て、6月に各自が制作したマグカップに、いよいよ絵付けを行う活動です。1学期に、制作したものが、素焼きされ配布された時は、子ども達の嬉しそうな笑顔が、溢れていました。早速、それぞれが絵付けをし、最後は、9月中旬に、国指定史跡「畑の原の登り窯」で、窯焚きとなります。



また、中学3年生は、西海陶器の小林 善輝さん（本校 コミュニティースクールの会長）をお招きし、波佐見焼についてお話をいただきました。波佐見焼の歴史から現在取り組んでいること、そして、未来への展望についての内容でした。波佐見焼は、海外にも拠点をもち、販売を展開していること、第8次産業への取組として、窯業・農業・観光を一体化した窯元見学ツアーや農窯体験、農家民泊等、波佐見町の明るい未来について、ご講話いただきました。子どもたちも先生方も、目を輝かせ熱心に聞きました。



令和3年度の体育大会終わる（9月26日）

「思い出をえがけ 仲間との絆 今日の主役は私たち」をスローガンに取り組んだ体育大会も、盛会の内に終わることができました。ご参観いただいた保護者の皆様、誠にありがとうございました。子どもたちの一生懸命な演技やアイデアある応援合戦で、会場全体に「笑顔と感動」の花が咲きほこったように感じました。私自身が感動した一つに、応援合戦がありました。4分以内という制限ある中、力強く迫力のある波佐見中伝統の演武とダンス曲を交えたユニークでアイデアのある応援合戦でした。生徒の皆さんの「創造」の力を感じました。感動の応援合戦ありがとうございました。そして、お疲れさまです。

<体育大会のスローガン及び各ブロックの応援パネル>



<波佐見中伝統の応援合戦>

優勝は、緑・赤ブロック 今年度より時間を3分から4分以内への演技に変更しました。子どもたちの「創造」の力を発揮してもらうためです。伝統の演武とダンスも取り入れた「新しい応援の形」を考えてもらいました。優勝は決まったものの、どのブロックも「隊形の変化」「力強い演武」とすばらしい構成のものでした。新しい風が吹いた感じがしました。



青ブロック



赤ブロック



黄色ブロック



緑ブロック



各学級で競い合った長縄跳び
全校最高回数は、3年3組 178回



恒例の記念写真（3年）
大会が終わると、競い合った
友も、みんな仲間

<10月の行事予定>

5日	郡中体連駅伝大会（川棚町）	21日	3年実力テスト ～22日
8日	中尾山ウォークラリー （波佐見町 1年生）	25日	薬物乱用防止教室（3年） 進路説明会（3年）
8日	学校保健委員会 講話（2年 3年）	26日	波佐見高校生による体験発表会（2年）
15日	文化発表会（弁当持参） （全学年 波佐見町総合文化会館）	28日	町教委訪問 特定授業3-3 道徳 2-3 数学

